



# 子どもたちの感動を大切にす豊かな体験学習

～農家民泊・農作業体験・世界自然遺産にふれる自然体験～

大館市立上川沿小学校 教諭 津谷 徹

## 1 はじめに

上川沿小学校の5年生35名は、夏休み中の7月25日から27日までの3日間、能代市、八峰町で宿泊体験学習を行った。ここでは、本校の農家民泊、農作業体験、自然体験について紹介したい。

## 2 宿泊体験活動のねらい

- (1) たくさんの人たちとの出会いを大切にし、交流を深める。
- (2) お互いに協力しあい、友情を深める。
- (3) 自然を大事にし、ふるさとのすばらしさを実感する。



## 3 活動の計画

7/25(水) 出発式・能代エナジウムパーク見学・能代こども館見学(プラネタリウム)

・農家の方との対面式・農作業体験・そば打ち体験・夕食作り体験・農家民泊

7/26(木) 朝食作り体験・お別れ式・あきた白神体験センター入所式・ニツ森登山・ナイトハイク・あきた白神体験センター泊

7/27(金) シーカヤック体験・海水浴体験・退所式・解散式

宿泊体験学習を行うに当たっては、県の秋田発・子ども双方向交流事業を活用した。能代いなか体験推進協議会事務局に、能代市内の中で、民泊の協力が可能な農家を探していただき、鶴形地区、竹生地区、檜山地区の11軒の農家を手配した。

## 4 活動の実際

### (1) 農作業・そば打ち体験

竹生地区のグループでは、ジャガイモ、なすやきゅうりの収穫を体験した。じゃがいもの茎をひっぱると、いもがすずなりについていて、子どもたちは驚いていた。

北限の茶で有名な檜山地区では、茶畑で茶摘みを行った。お茶どころの静岡などの木と異なり、丈が低いことが特徴であり、摘みたてのお茶を味わうことができた。

鶴形地区では、公民館で鶴形そばのそば打ちを行った。そば打ちは、当初、3グループの予定だったが、悪天候のため、農作業体験ができなかったグループも参加することになった。地区のお母さん、おばあちゃん総出で、指導していただいた。

### (2) 調理体験

自立心を育てることが民泊のねらいの一つであり、自分で食べる物はできるだけ自分で準備した。鶴形地区では、そば作りに参加したグループが合同で夕食の準備をし、食事をとった。各グループに大人の方がついてくださり、地元の子どもたちといっしょに夕食準備を進めた。地域の子どもたちとの会食は、とてもにぎやかであった。

### (3) 自然体験

二日目は、農家の方とのお別れ式の後、バスで八峰町のあきた白神体験センターに移動した。あきた白神体験センターからバスで50分ほど走ると、ニツ森の登山口に着いた。途中、リスやニホンザルが出迎えてくれ、子どもたちは「わあっ。」と歓声を上げた。登山では、地元のガイドさんの説明で、ブナの木や分水嶺、青森県との県境、熊の生態などについて知ることができた。白神体験センターでの夕食後に、ナイトハイクを行った。引率者の中に八峰町出身の先生がいたので、案内役をお願いした。いか釣り船の漁火の話や波の音を子守歌にして育ったという話に、子どもたちは真剣に耳を傾けた。

三日目は、2班に分かれて、海水浴とシーカヤック体験を行った。海水浴では体験センターの先生の説明や手ほどきのもと、ゆっくり海につかることができた。岩のてっぺんからのダイブは特別に体験させていただいたが、スリル満天だった。シーカヤック体験では、準備や片付けを自分たちで行ったり、呼吸を合わせてオールを漕いだりして、協力することの大切さが実感できた。

学校での解散式では、子どもたちが「また、いきたい人？」と聞かれた時に、全員手をあげたことが印象に残った。一人一人、夏の思い出をおみやげに家路についた。

### (4) 事後の活動

- ① 活動のふり返しをする。
- ② お礼状を出す。(文通につながった児童もいた)
- ③ 体験したことを劇化して学習発表会で紹介する。



## 5 児童や保護者の反応

### (1) 児童の感想

- ① 能代市の農家の人やその家族、八峰町の人たちと触れ合うことができ楽しかった。(食事作り・会食・団らん・花火など)
- ② 収穫体験、調理体験、登山で友だちと力を合わせたり、声をかけ合ったりして活動できるのでよかった。
- ③ 白神山、日本海などの自然のすばらしさを感じ取ることができてよかった。茶摘みやそば打ちなど、その地域のよさも分かった。

### (2) 保護者の感想

- ① 親元から離すのは不安だったが、帰ってきた子どもの表情を見てやってよかったと思った。
- ② 何かを作るという体験の意味は大きかった。子どもの話しぶりから、我が子が少し大人になった感じがした。
- ③ 農家の人たちの全面的な協力があったからこそこの体験だった。ただただ、感謝の気持ちでいっぱい。
- ④ 自立につながるであろうこの体験をこれからの生活に生かしてほしい。

## 6 成果

- (1) 民泊での農家の家族との交流により人の温かさややさしさに触れることができた。
- (2) 様々な活動場面で、子ども同士の助け合いや励まし合いなどが見られた。
- (3) ふだん触れることが少ない山や海などの自然にたっぷり触れることができた。